

【決算ハイライト】

- ・2013年度は中期事業戦略の着実な推進により3期連続の増収増益を達成。
- ・2013年度の売上高は、製造流通向けの拡大や、連結子会社であるKITシステムズ株式会社のITインフラサービスでの増収などにより、前期比4.1%増の35,126百万円となった。また経常利益は前期比21.1%増の1,121百万円となった。
- ・2014年度の売上高見通しは、鉄鋼向け、および外販部門の自動車・金融向けの拡大により、前期比で2.5%増の360,000百万円を見込む。経常利益は鉄鋼大型案件の実行・外販製造流通向けの拡大・事業基盤強化の取り組みにより、前期比35.6%増の1,520百万円を目指す。

【質疑応答】

Q.外販事業や鉄鋼事業の拡大には、相応の人材投入が必要と思われる。要員確保の方策について聞きたい。

A.外販事業では2011年の株式会社エクサからの鉄鋼事業承継後、鉄鋼部門から約50人を外販部門に移籍させ、システム開発の企画・提案を担う人材として育成・活用してきた。また、鉄鋼事業では、KITシステムズとの連携を強化し効率的な要員活用を図ってきた。ただ、2014年度までは現在の体制で対応可能と考えるが、2015年度以降は要員不足が懸念される。早々に対策を進めていきたい。

Q.「製鉄所システム共通化」の進め方について聞きたい。

A.製鉄所システムは非常に規模が大きく、より効率の良い領域から着手したいと考えている。進め方としては、まずパイロットモデルを作り、横展開を図っていきたい。製鉄所システム共通化を確実に進めることで、JFE スチールに貢献していく。

以上